

## 第 2 章

### 我孫子市の歴史文化の特徴

---

## 第2章 我孫子市の歴史文化の特徴

### 1 我孫子市の文化財の概要

我孫子市内には、令和2（2020）年9月1日現在、国指定文化財はない。国登録有形文化財としては、平成20（2008）年に旧井上家住宅が文化財登録原簿に登録されたが、市指定文化財となったため平成30（2018）年に登録原簿より抹消された。また、県指定文化財は5件、市指定文化財は17件ある。

我孫子市指定文化財で多いのは、有形文化財の美術工芸品であるが、内容は主に考古資料で、絵画などの美術作品や伝統工芸品などは含まれていない。その次に多い建造物は、大正時代以降の建造物が多く、江戸時代の建造物は旧井上家住宅1件である。民俗文化財は有形無形ともに2件ずつとなっている。記念物に関しては、ヒカリモの1件のみである。

現時点で把握している指定されていない我孫子遺産については以下のとおりである。古文書については、現在44の家が保有していることを確認しているが、今後も申し出によっては増える可能性がある。建造物については、登記簿より建築年代が古いものを抽出したのみであり、今後、実地調査を行う必要がある。このほか、手賀沼や利根川などの自然物、埋蔵文化財包蔵地として登録されている遺跡等がある。

種類	国		千葉県		我孫子市		
	指定 選定	登録	指定	登録	指定	登録	
有形文化財	建造物	0	0	0	0	4	0
	絵画	0	0	0	0	0	0
	彫刻	0	0	0	0	2	0
	工芸品	0	0	0	0	0	0
	書跡・典籍	0	0	0	0	0	0
	古文書	0	0	0	0	0	0
	考古資料	0	0	1	0	3	0
	歴史資料	0	0	0	0	1	0
無形文化財		0	0	0	0	0	0
民俗文化財	有形の民俗文化財	0	0	1	0	2	0
	無形の民俗文化財	0	0	0	0	2	0
記念物	遺跡	0	0	2	0	1	0
	名勝地	0	0	0	0	1	0
	動物、植物、地質鉱物	0	0	1	0	1	0
文化的景観		0	0	0	0	0	0
伝統的建造物群		0	0	0	0	0	0
文化財の保存技術		0	0	0	0	0	0

図28 我孫子市指定等文化財件数一覧（類型別）

種類	件数	
古文書（家）	44	
石造物	9,920	
寺院	32	
神社	30	
建造物（築75年以上）	89	
民俗調査	講	17
	伝承	30


図29 我孫子遺産把握件数

（令和2年9月現在）

## (1) 千葉県指定文化財

千葉県は県内に所在する文化財のうち、特に重要なものについて「千葉県文化財保護条例」に基づいて、千葉県指定文化財として指定し保護している。

	区分	指定等年月日	名称	写真
1	有形文化財 (考古資料)	H24.3.16	金塚古墳出土遺物	
	所在地		時代	
	根戸 (教育委員会蔵)		古墳	
	概要			
	5世紀代の古墳。短甲・石枕・立花・埴輪の出土遺物計21点			
2	民俗文化財 (有形)	H10.3.20	正泉寺の血盆経信仰資料	
	所在地		時代	
	湖北		近世	
	概要			
	女人成仏血盆経出現図等の絵画3点と、血盆経縁起・紺紙金泥血盆経をはじめとする版木類一式を含む資料			
3	記念物(史跡)	H4.2.28	水神山古墳	
	所在地		時代	
	高野山		古墳	
	概要			
	4世紀末、全長約69mで、千葉県北西部地区最大の前方後円墳			
4	記念物(史跡)	H7.3.14	相馬郡衛正倉跡	
	所在地		時代	
	千葉県立特別支援学校 (日秀)		弥生・古墳・奈良	
	概要			
	弥生、古墳、奈良時代以降の住居跡などが見つかった複合遺跡。なかでも54棟の掘立柱建物跡は「正倉」律令時代の税である米を保管しておく相馬郡の役所の倉庫と考えられる			

	区分	指定等年月日	名称	写真
5	記念物 (天然記念物)	S10.8.23	東源寺の榎ノ木	
	所在地		時代	
	柴崎		江戸時代中期	
	概要			
	江戸時代中頃に新四国相馬霊場を開いた <sup>かんかくこうおん</sup> 観覚光音禪師手植えの木と伝えられ、樹齢は推定 250 余年			

## (2) 我孫子市指定文化財

我孫子市は「我孫子市文化財保護に関する条例」第4条に基づき市の区域内にある文化財のうち重要なものについて我孫子市指定文化財として指定し保護している。

	区分	指定等年月日	名称	写真
1	有形文化財	H7.5.11	二十一仏武蔵石板碑	
	所在地		時代	
	中峠		室町	
	概要			
	二十一仏武蔵石板碑 1基			
2	有形文化財	H13.10.29	仁阿弥道八作 「陶製仁王像」	
	所在地		時代	
	根戸		江戸末期	
	概要			
	約 30cmの阿形・吽形 2 軀			
3	民俗文化財 (有形)	H14.7.8	裁縫雛形	
	所在地		時代	
	中峠 (教育委員会蔵)		大正	
	概要			
	実寸の三分の一の和裁 ・ 洋裁雛形 85 点			

4~6	区分	指定等年月日	名称	写真
	有形文化財	H15.6.25	地名・人名墨書土器(3点)	
	所在地		時代	
	新木 (教育委員会蔵)		古代	
	概要			
「藤原部=久須波良部」の人々が実際に暮らしていたことを示す資料				
7	区分	指定等年月日	名称	写真
	有形文化財 (彫刻)	H18.3.6	中里薬師堂 薬師三尊及び十二神像	
	所在地		時代	
	中里		江戸後期頃	
	概要			
本尊と脇侍、十二神将がすべて揃っている				
8	区分	指定等年月日	名称	写真
	記念物(史跡)	H19.5.30	旧村川別荘	
	所在地		時代	
	寿		大正・昭和	
	概要			
東京帝国大学教授、村川堅固が設け、その息子で東京大学教授の村川堅太郎(いずれも西洋古代史専攻)が守った別荘				
9	区分	指定等年月日	名称	写真
	民俗文化財 (無形)	H20.7.31	古戸里神楽	
	所在地		時代	
	古戸		近世	
	概要			
古戸地区の稲荷神社の祭礼で行われる神楽舞と面芝居				
10	区分	指定等年月日	名称	写真
	有形文化財 (建造物)	H22.1.29	旧杉村楚人冠邸	
	所在地		時代	
	緑		大正	
	概要			
国際的ジャーナリスト杉村楚人冠の邸宅。母屋・澤の家等からなる				



11	区分	指定等年月日	名称	写真
	有形文化財 (建造物)	H23.3.31	志賀直哉邸跡書斎	
	所在地		時代	
	緑		大正	
	概要			
白樺派の小説家志賀直哉が設計した書斎。地元の大工が施工した				
12	区分	指定等年月日	名称	写真
	有形文化財 (建造物)	H24.3.29	葺不合神社本殿・ 拝殿附二の鳥居	
	所在地		時代	
	新木		江戸・明治	
	概要			
拝殿は江戸時代中期、本殿は明治30年に建築。明治41(1908)年に現在の地へ移築された。建物全体に施された精緻な装飾彫刻が大きな特徴				
13	区分	指定等年月日	名称	写真
	有形文化財 (建造物)	H24.12.28	旧井上家住宅	
	所在地		時代	
	相島新田		江戸～昭和	
	概要			
手賀沼干拓を行った、相島新田名主の家。母屋、蔵(二番土蔵・新土蔵)等からなる。母屋と表門、二番土蔵は江戸末期、新土蔵は昭和初期に建設				
14	区分	指定等年月日	名称	写真
	記念物(史跡)	H26.2.28	日立精機2号墳	
	所在地		時代	
	我孫子古墳公園内 (我孫子)		古墳終末期	
	概要			
墳丘の高さ2.5m、全長30m、後円部径18m、後円部幅21m、周溝幅4～5m、周溝深さ50～60cm、くびれ部に横穴式石室を有する前方後円墳				

	区分	指定等年月日	名称	写真
15	記念物 (天然記念物)	H28.2.29	ヒカリモ発生地	
	所在地		時代	
	谷津 ミュージアム内		平成	
	概要			
	平成 16 (2004) 年に維持管理活動によって再生された水域環境で希少なヒカリモの生息を確認			
16	区分	指定等年月日	名称	写真
	民俗文化財 (有形)	H31.2.28	白泉寺 待道講版木 附 待道講資料	
	所在地		時代	
	岡発戸		明治 11 年以前	
	概要			
版木から刷られた札は、この地区で始まり近隣に広まった女人講「待道講」で使用された				
17	区分	指定等年月日	名称	写真
	民俗文化財 (無形)	R2.2.28	竹内神社例大祭	
	所在地		時代	
	布佐		近世から近代	
	概要			
毎年 9 月 14 日に祭典、祭礼は敬老の日の祝日を含めた 3 日間行われ、当番町の持ち回りで維持されている				

## (3) 我孫子遺産

県指定文化財、市指定文化財のほか、現在把握している我孫子遺産については図30のとおりである。

類型		把握件数	概要
有形文化財	建造物	寺社建築	62件 市内に寺院が32件、神社が30件ある。うち23件は新四国相馬霊場の札所になっている
		古民家などの歴史的建造物	89件 市指定文化財は旧井上家住宅、旧村川別荘、旧杉村楚人冠邸、志賀直哉邸跡書斎などがある。その他は民間所有の築年数75年以上の建造物を登記簿から抽出した数
	美術工芸品	美術工芸品	877件 原田京平や志賀直哉が描いた絵画や、白樺派関係の陶芸作品などの他、井上家が収集した書画などがある
		古文書	44件 44件の家で約51,700点の資料が確認されている
		考古資料	26件 県指定の金塚古墳考古遺物をはじめとして、根戸船戸遺跡1号墳の頭椎大刀、水神山古墳のガラス玉などが発掘され、現在調査されている
		石造物	9,920件 道祖神や道しるべ、記念碑など多岐にわたる石造物が調査されている
民俗文化	有形	民具	1,552件 手賀沼で行われた漁具、鳥獵時に使われた道具をはじめ、農具や生活道具などがある
	無形	祭り・行事・講・生活・生業	66件 市指定文化財の古戸里神楽、竹内神社例大祭などのほか、我孫子発祥の女人講である待道講などが現在も続いている。一方、調査後になくなってしまった講や行事もある
		説話・伝承	30件 手賀沼や塚を舞台とした我孫子独自の昔話や、平将門にまつわる伝承とその伝承に紐づく史跡がある
記念物	史跡	遺跡	206件 県指定の相馬郡衙、水神山古墳をはじめ、多数の古墳や、城跡などが調査されている
		古道	5件 水戸道中などの公的な道のほかに、ハケの道などの生活に必要な道、新四国相馬霊場の遍路道などがある
		旧宅	7件 建造物・庭ともに往時のまま保存されている民間所有の住宅もある
	植物	3件 県指定の榎の木、市指定のヒカリモのほか、民間所有の巨木がある	
文化的景観		1件	我孫子の景観を代表する手賀沼が挙げられる

図30 我孫子遺産の把握件数と概要



## (4) 我孫子遺産の特徴と属性

我孫子遺産は以下の5つの属性に分けられる。

### 我孫子遺産の属性① 自然にかかわる我孫子遺産

利根川と手賀沼に囲まれた我孫子では、自然との関係が密接であり、人々は自然の恵みと自然災害との間で共生してきた。このカテゴリーに属するものとしては、手賀沼、利根川、古利根沼、湧水スポットなどがある。

### 我孫子遺産の属性② 人々の暮らしに関わる我孫子遺産

自然からの恵みを求めて我孫子に集まった人々は、地域の風土に合った民具を使用し、住まいを構えて生活した。このカテゴリーに属するものとしては、手賀沼と利根川での鳥猟や漁業に関わる道具類、旧井上家住宅や旧村川別荘などの邸宅や別荘建築がある。

### 我孫子遺産の属性③ 地域社会や産業・交通に関わる我孫子遺産

我孫子に集まった人々はムラやまちをつくり、地域社会の中心となる役所や城を造った。また人々が従事する産業や交通インフラを整備した。このカテゴリーに属するものとしては、下ヶ戸貝塚などの集落、相馬郡衙関連遺跡群などの官衙、中峠城などの城郭、一里塚、追分道標などの交通関連碑がある。

### 我孫子遺産の属性④ 祭祀や信仰に関わる我孫子遺産

我孫子に集まった人々は、地域に根ざした祭祀を行って絆を結び、神や仏の信仰を心の拠り所として寺社を整えた。このカテゴリーに属するものとしては、中里薬師堂薬師三尊像及び十二神将像などの仏像・神像、白泉寺待道講版木附待道講資料などの信仰資料、竹内神社例大祭などがある。

### 我孫子遺産の属性⑤ 人々の記憶と記録に関わる我孫子遺産

我孫子に集まった人々が①～④に関わる記憶を資料として記録し、次世代に継承した。このカテゴリーに属するものとしては、井上家資料や杉村楚人冠関係資料などの紙資料を中心とした記録類、血脇先生謝恩之碑などの記念碑、『湖北村誌』などの自治体史がある。

以上の①～⑤の属性を整理したものが次ページの図31である。

	自然にかかわる 我孫子遺産	人々の暮らしにか かわる我孫子遺産	地域社会や産業・ 交通にかかわる 我孫子遺産	祭祀や信仰にかかわ る我孫子遺産	人々の記憶と記録 にかかわる我孫子 遺産
全時代	手賀沼				
	利根川				
	湧水スポット				
	ヒカリモ発生地★				
	谷津ミュージアム				
古代		下ヶ戸貝塚出土遺物	地名・人名墨書土 器★	前原古墳	
			相馬郡衙関連遺跡 群★（県）	水神山古墳★（県）	
			羽黒前遺跡（方形 居館跡）	水神山古墳副葬品	
			古代東海道	金塚古墳出土遺物★ （県）	
				子ノ神古墳群	
				頭椎大刀（根戸船戸 遺跡 1号墳）	
				日立精機 2号墳★	
				八幡神社 懸仏	
中世			中峠城跡	二十一仏武蔵石板碑★	
			根戸城跡	興陽寺	
				八坂神社	
				柴崎神社	
				諏訪神社	
				正泉寺	
				大光寺	
				順道塚	
				擔塚	
江戸	東源寺の榎ノ木★ （県）	旧井上家住宅★	一里塚	中里薬師堂 薬師三尊 像及び十二神将像★	井上家資料
		榎本次郎右衛門邸	千間堤	陶製仁王像★	
		水塚	観音堂 馬頭観音	富士山信仰（天照神 社、浅間神社）	
		我孫子宿旧名主邸	水戸道中	桂香院奉納地藏菩薩 像	
			布佐湊	滝不動	
			追分道標	勝蔵院	
			我孫子宿	観音寺	
			なま街道	首曲がり地藏	
			成田道	将門神社	
			子ノ神道	将門の井戸	
		遍路道	桔梗の禁忌		

図 31 我孫子遺産の属性別分類

	自然にかかわる 我孫子遺産	人々の暮らしにか かわる我孫子遺産	地域社会や産業・ 交通にかかわる 我孫子遺産	祭祀や信仰にかかわ る我孫子遺産	人々の記憶と記録 にかかわる我孫子 遺産
江戸			ハケの道	きゅうりの禁忌	
				延命寺 薬師観音 虚空蔵菩薩	
				正泉寺の血盆経信仰 資料★（県）	
				古戸里神楽★	
				菖不合神社本殿・拝 殿附二の鳥居★	
				竹内神社（竹内神社 例大祭★）	
				稲荷神社（布佐下）	
				水神社（都部新田）	
明治	古利根沼	嘉納治五郎別荘跡		白泉寺 待道講版木 附待道講資料★	布佐文庫
		嘉納治五郎後楽農 園跡		鰻塚	
		漁具			杉村楚人冠資料
		農具			原田京平関係資料
		鳥獵で使用した民 具			
大正	三樹の木	裁縫雛形★	蚕霊塔		杉山英先生之碑
		志賀直哉邸跡書斎★			『湖北村誌』
		三樹荘（柳宗悦邸 跡）			天神坂
		旧凌雲堂医院			志賀直哉小説
		旧杉村楚人冠邸★			杉村楚人冠 『湖畔吟』
		瀧井孝作仮寓跡			
		旧村川別荘★			
昭和		旧岡田武松邸跡	利根大橋	香取神社	嘉納治五郎の書
		旧武者小路実篤邸跡	栄橋	波除不動	手賀沼殉難教育者 の碑
			布佐気象送信所跡 （气象台公園）		血脇先生謝恩之碑
					杉村楚人冠陶製句碑
					バーナード・リー チ碑
近代				山田家コレクション	
現代	鳥の博物館				嘉納治五郎先生之像
	手賀沼親水広場 「水の館」				白樺文学館
					リーチ岬

図 31 我孫子遺産の属性別分類

## 2 我孫子市の歴史文化の特徴

市の概要や我孫子遺産の概要と特徴を受けて、我孫子市の歴史文化の特徴を述べる。

### (1) 手賀沼や利根川などの豊かな自然と歴史が調和している

我孫子市域は利根川と手賀沼に囲まれた土地であり、水辺に集う生物を目当てに人々が集まり、狩猟や採集が行われた。水辺や谷津は水田耕作の場となり、人々に実りをもたらした。彼らが暮らしていた痕跡は遺跡として地下に残っている。また、古代から近世にかけて主要な輸送手段であった舟運とのアクセスが良く、利根川水系などの周辺域だけでなく、奈良や京都といった遠隔地から多くの人や物が集まった。相馬郡衙や根戸船戸遺跡 1号墳の出土遺物を見ると、畿内からダイレクトに物資がもたらされていることがわかる。江戸時代になると、手賀沼では漁業（鰻など）、鳥猟（鴨など）が盛んに行われ、江戸の食を支える場となった。江戸との往来は、古代以来の舟運のほかに陸上交通として水戸道中や江戸に鮮魚を運ぶ「なま街道」が整備され、江戸の文化が直接、布佐湊や我孫子宿にもたらされるようになった。人々の心を結ぶ祭礼や信仰、伝承も、手賀沼と利根川の開発・利用が進む江戸時代中期から急速に広がるものが多く、江戸との結びつきや地域社会の発展に伴う人々の心の拠り所となっていた。

すなわち、手賀沼や利根川の水辺を中心とした豊かな自然を背景として、その生産性と利便性に惹かれた人々が暮らしの場であるまちを形作り、自然と適度に調和している。これが我孫子の歴史文化の1つ目の大きな特徴である。

### (2) 多くの著名人に愛されたまちである

手賀沼の水辺に近い、という自然環境を活かして、別荘地、郊外住宅地として拓かれたこの地には、講道館の創始者である嘉納治五郎、白樺派の柳宗悦、志賀直哉、武者小路実篤、バーナード・リーチ、作家の瀧井孝作や中勘

助、政治家の近衛文麿などの歴史的著名人が多く訪れるようになった。彼らは東京で仕事をしているため、度々東京との往復が必要となり、交通が整備され東京と近いことは魅力的であった。また、彼らは我孫子の地での滞在の記録を日記に残し、小説や書簡、写真に記録した。これらの記録を紐解くと彼らは、手賀沼を中心とした自然を楽しみ、同時にグローバルな視点をもって進んだ海外の文化を紹介し、この地から全国に文化を発信したことがわかる。彼らの活動は、地元の住民との交流を通して地域文化の醸成にも寄与することとなった。今も残る別荘地や、手賀沼公園・高野山桃山公園などから見る手賀沼の景観

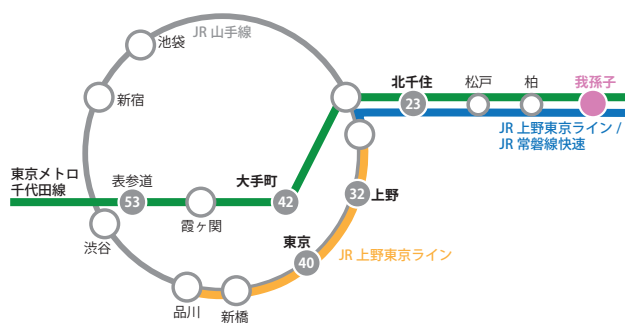


図 32 都心からのアクセス時間(令和2年9月現在)

からも彼らが我孫子の地を愛したことを感じ取ることができる。

こうした著名人にかかわる我孫子遺産は「歴史好き」な人たちだけでなく、「あまり歴史のことは興味がない」という多くの人々が我孫子市の歴史に触れる契機となっている。これが我孫子市の歴史文化の2つ目の大きな特徴である。



望眺の湖美安りよ山神天子孫我

写真57 手賀沼の風景  
文人たちが作った絵葉書（村川家蔵）



写真58 『湖畔吟』

地元の若者の楽しみのため杉村楚人冠が主催した俳句結社「湖畔吟社」の会誌



写真59 布佐文庫  
布佐の医者松岡鼎の発案で地元のために書籍が集められた